学校番号	３０１１

令和８年度　工業科（工学系）

教科	工業	科目	ﾊｰﾄﾞｳｪｱ技術	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	７実教「工業 747 ﾊｰﾄﾞｳｪｱ技術」　（実教出版）						
副教材等	全国工業高等等学校校長協会主催　情報技術検定問題集　（実教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

１．情報技術基礎での学習範囲を確認し、復習しておくこと。
２．全国工業高等学校長協会主催の情報技術検定に関連した科目です。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
コンピュータのハードウェアに関する基礎的な知識と技術を習得し
【思考力、判断力、表現力等】
実習と関連させて学習を行い、基本事項の理解を深める。また、情報技術検定試験問題に取り組むことで、理解を深める。
【学びに向かう力、人間性等】
コンピュータのハードウェアに関する知識・技術を実際に活用する能力と態度を育てる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	コンピュータのハードウェアに関する基礎的・基本的な技術を身につけ、工業におけるコンピュータのハードウェアの意義や役割を理解し、コンピュータの構成とマイクロコンピュータ組込み技術を合理的に計画し、その技術を適切に活用している。	コンピュータを適切に動作させるためのハードウェアの構成とプログラムについて思考を深め，基礎的・基本的な知識と技術をもとに適切に判断し，表現する創造的な能力を身につけている。	コンピュータを構成するハードウェアに関心をもち，論理回路，コンピュータの構成，コンピュータ制御やマイクロコンピュータ組込み技術などの活用に主体的に取り組もうとするとともに，実践的な態度を身につけている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	論理回路の設計	数値の表し方 論理回路	a：コンピュータを構成する基本的な論理素子の真理値表やタイムチャートを利用し，その入力と出力との関係について理解している。 b：小数点以下の 10 進数値を２進数に変換する場合，数値によって近似値で表されることや負数の２の補数表現について思考を深め，適切に判断し，表現している。 c：10 進数と２進数,8 進数,16 進数の関係およびそれぞれの数の変換方法や四則演算に関心をもち，主体的に探究している。	提出物 小テスト 考査	提出物 小テスト 考査	提出物 学習状況の観察
	情報技術の活用と問題の発見・解決	マルチメディア プレゼンテーション 文書の電子化 問題の発見・解決	a:マルチメディア機器やマルチメディアソフトウェアの操作に関する技術を習得している。データの圧縮と伸張について理解している。情報収集のための機器の操作に関する技術を習得している。 b:適切な情報収集方法を選択して提案できる。他人の発表をみて長所や改善点を指摘でき、自分の発表に生かすことができる。 c：積極的に自分で情報を収集して、分析・処理・発表する意欲がある。情報を整理して他人に発表したり、文書でまとめたりする意欲があり、積極的に取り組み、学習態度は真剣である。	提出物 小テスト 考査	提出物 小テスト 考査	提出物 学習状況の観察
2学期	プログラムの設計	フローチャート C言語 情報技術検定２級に向けて	a:コンピュータプログラミングのフローチャートやC言語の文法について理解している。 b:・2 重ループ ・IF 文 ・FOR 文 ・DO～WHILE 文、 を理解している。 c：コンピュータプログラミングの考え方に関心をもち，主体的に探究している。	提出物 小テスト 考査	提出物 小テスト 考査	提出物 学習状況の観察
3学期	演習	論理式の簡単化 1 ブール代数 2 カルノー図	a：ブール代数の定理について真理値表による証明や，ブール代数やカルノー図を活用した論理回路の簡単化ができ，適切に活用している。 b：ブール代数の定理やブール代数・カルノー図を用いた論理式の簡単化について思考を深め，適切に判断し，表現している。 c：論理回路を効率的に表すブール代数，論理式の簡単化や，カルノー図を用いた論理式の簡単化に関心をもち，主体的に探究している。	提出物 小テスト 考査	提出物 小テスト 考査	提出物 学習状況の観察

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度